

# すばるTAC報告

---

柏川伸成（国立天文台）

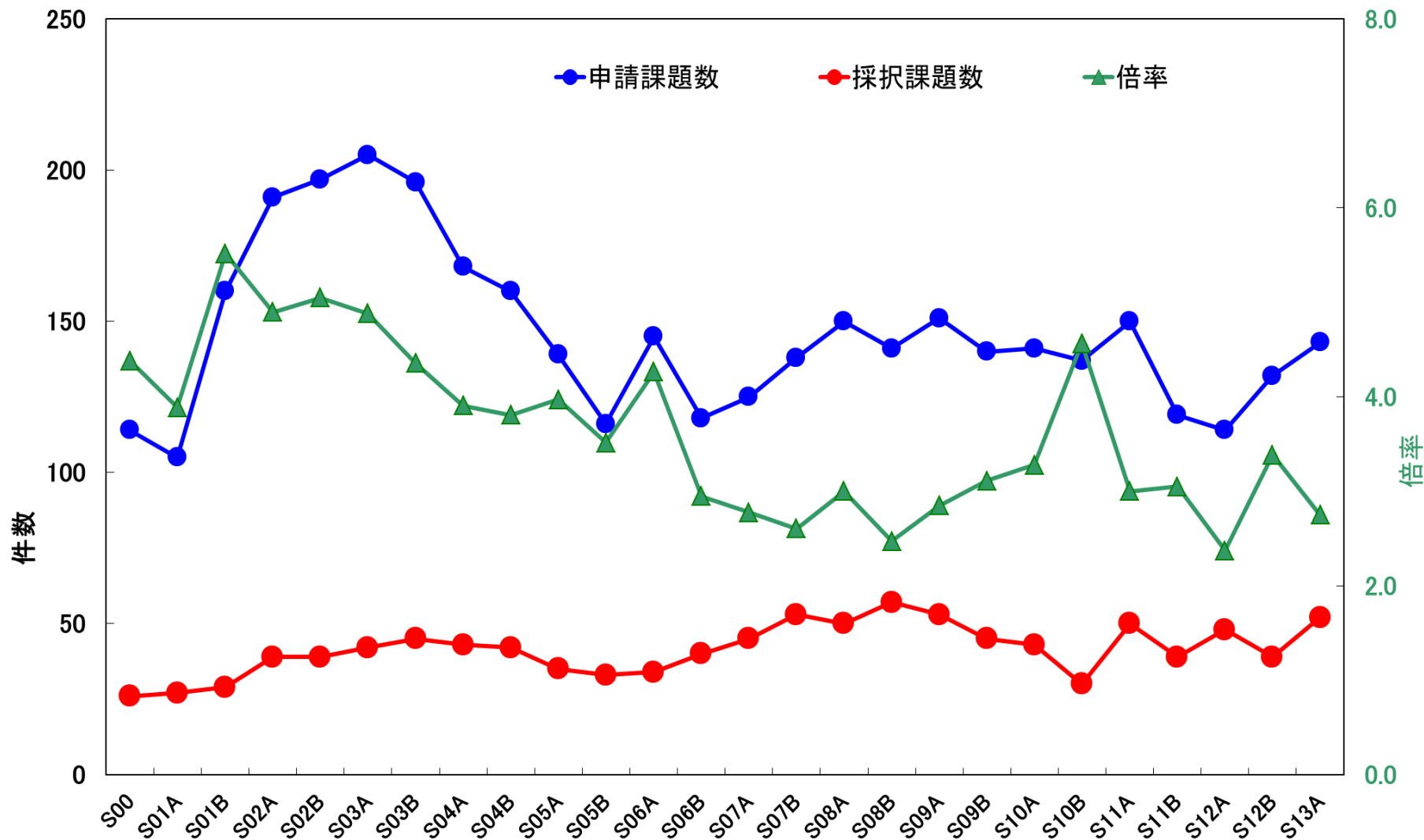
# Current TAC Members

---

- Nobunari Kashikawa (NAOJ, chair)\*
- Masateru Ishiguro (Seoul National University)
- Yoichi Itoh (Kobe University)\*
- Hideyuki Izumiura (NAOJ)
- Tohru Nagao (Kyoto University)
- Shigehiro Nagataki (Kyoto University)\*
- Masami Ouchi (University of Tokyo)
- Bun'ei Sato (Tokyo Institute of Technology)
- Yasushi Suto (University of Tokyo)
- Naoki Yoshida (University of Tokyo)

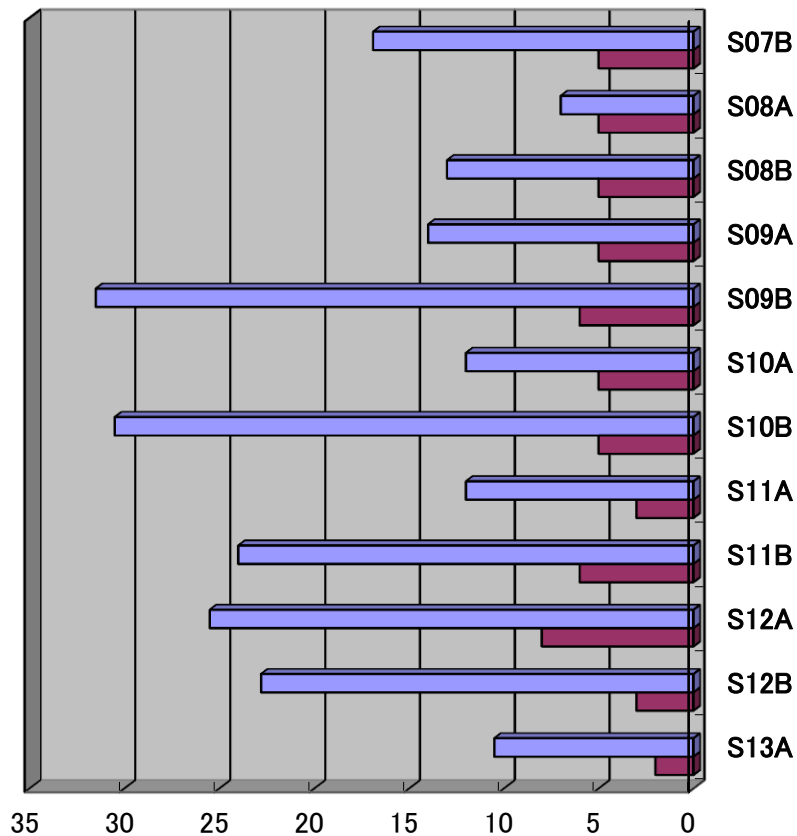
(7<sup>th</sup> generation, S12a~)

# 申請・採択課題数

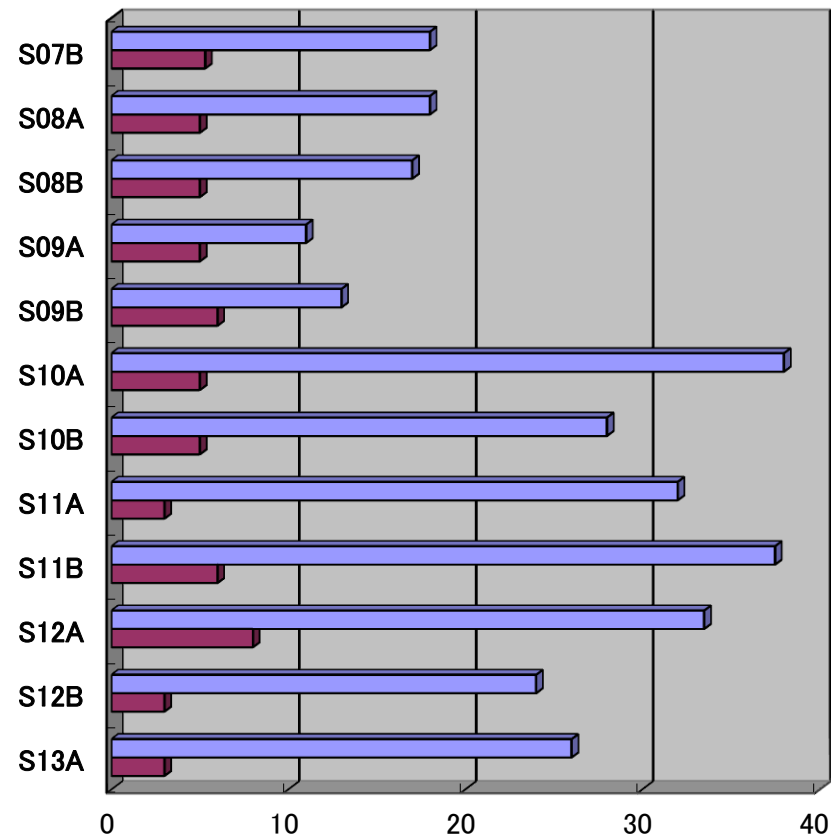


# Subaru⇔Gemini 時間交換

## Subaru→Gemini



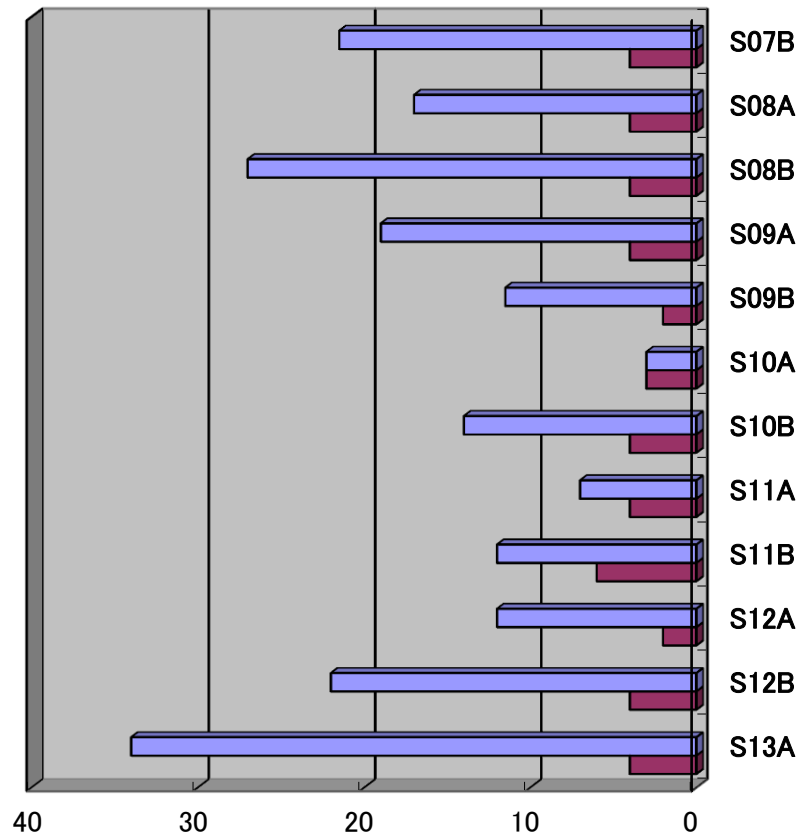
## Gemini→Subaru



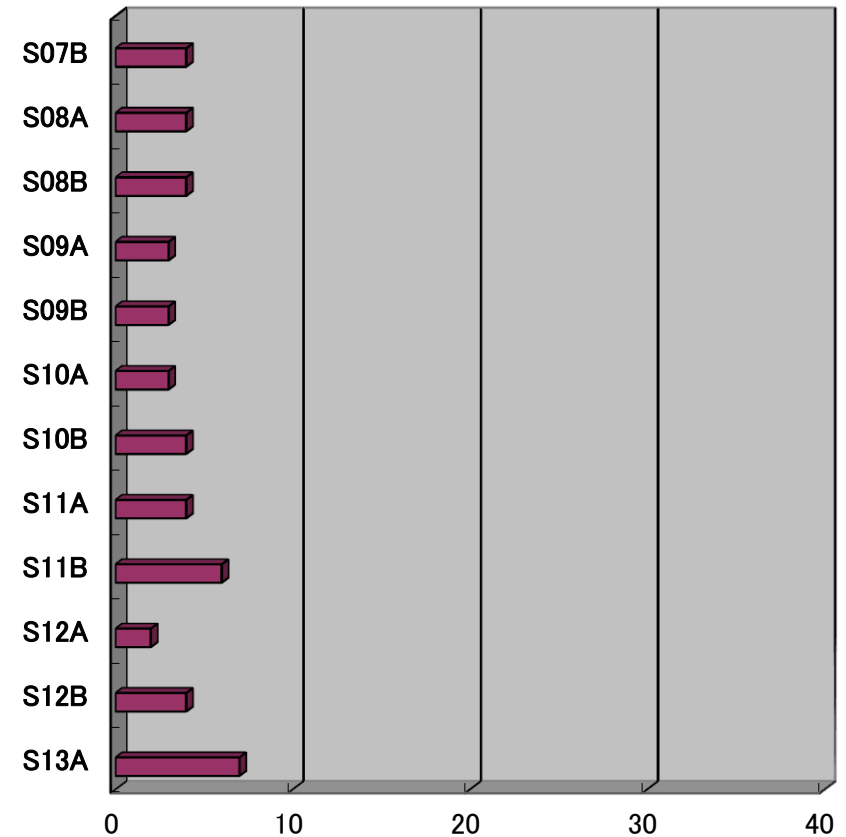
青：申請夜数    赤：採択夜数

# Subaru⇔Keck 時間交換

## Subaru→Keck

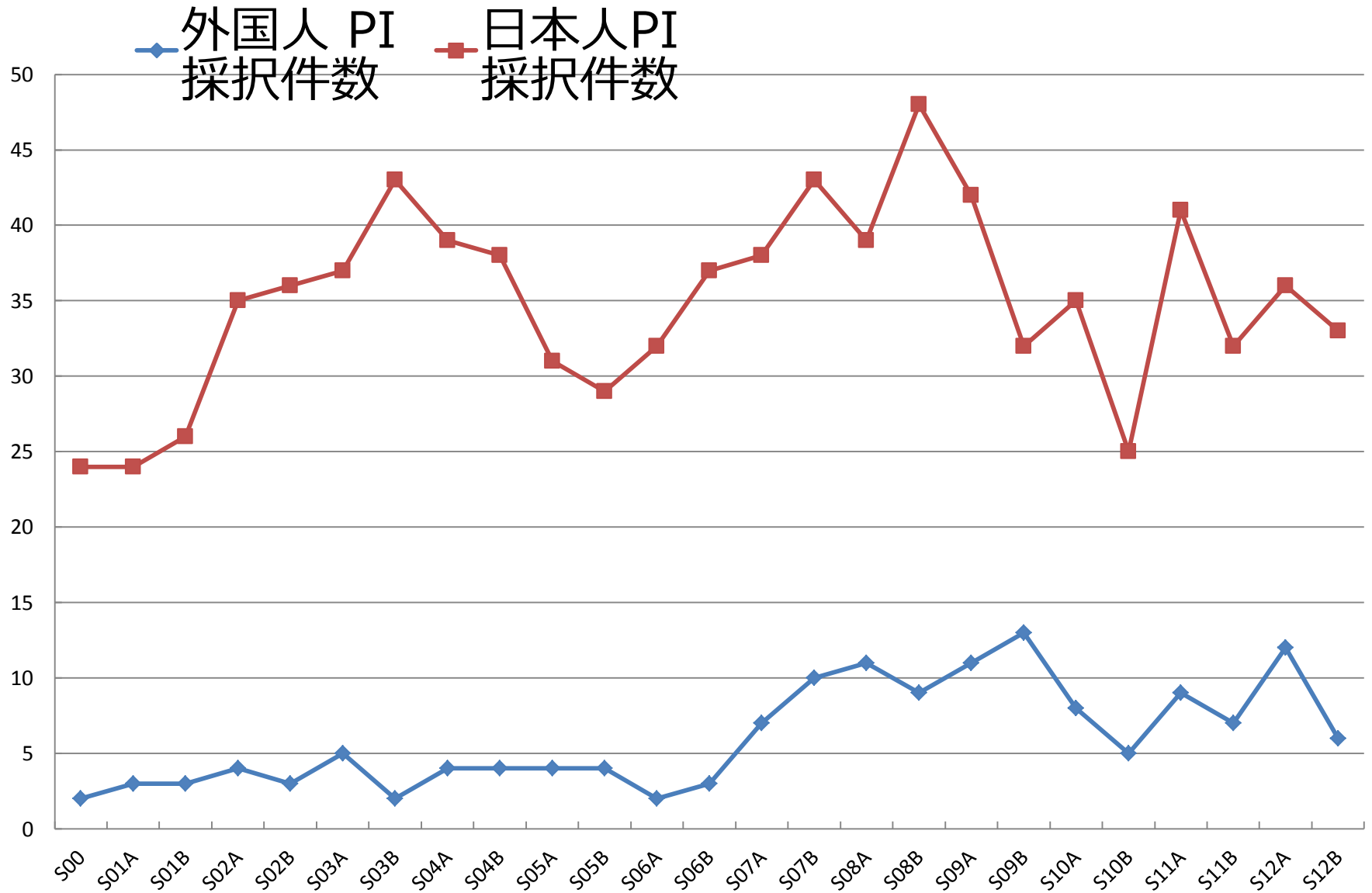


## Keck→Subaru (申請数非公開)

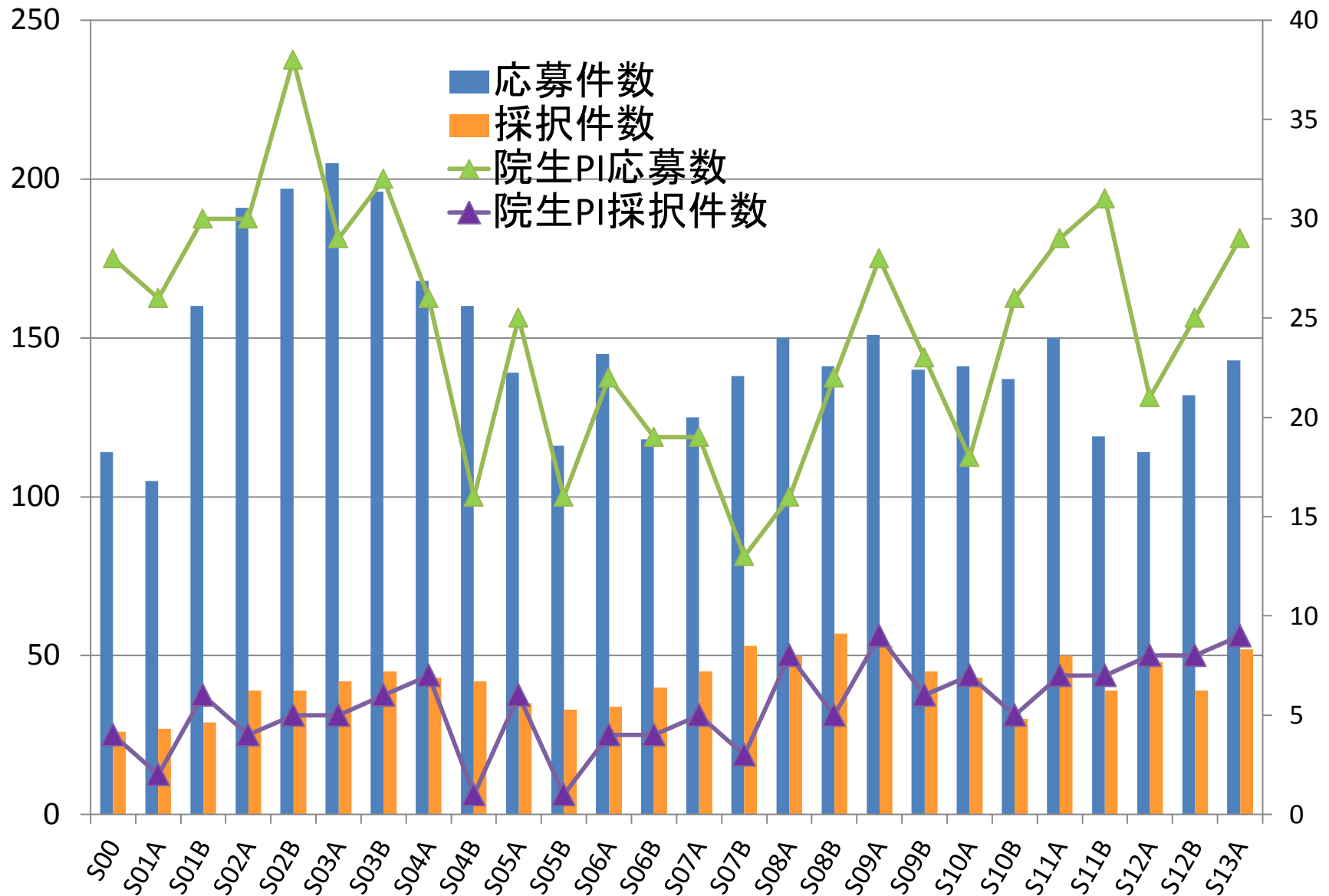


青：申請夜数 赤：採択夜数

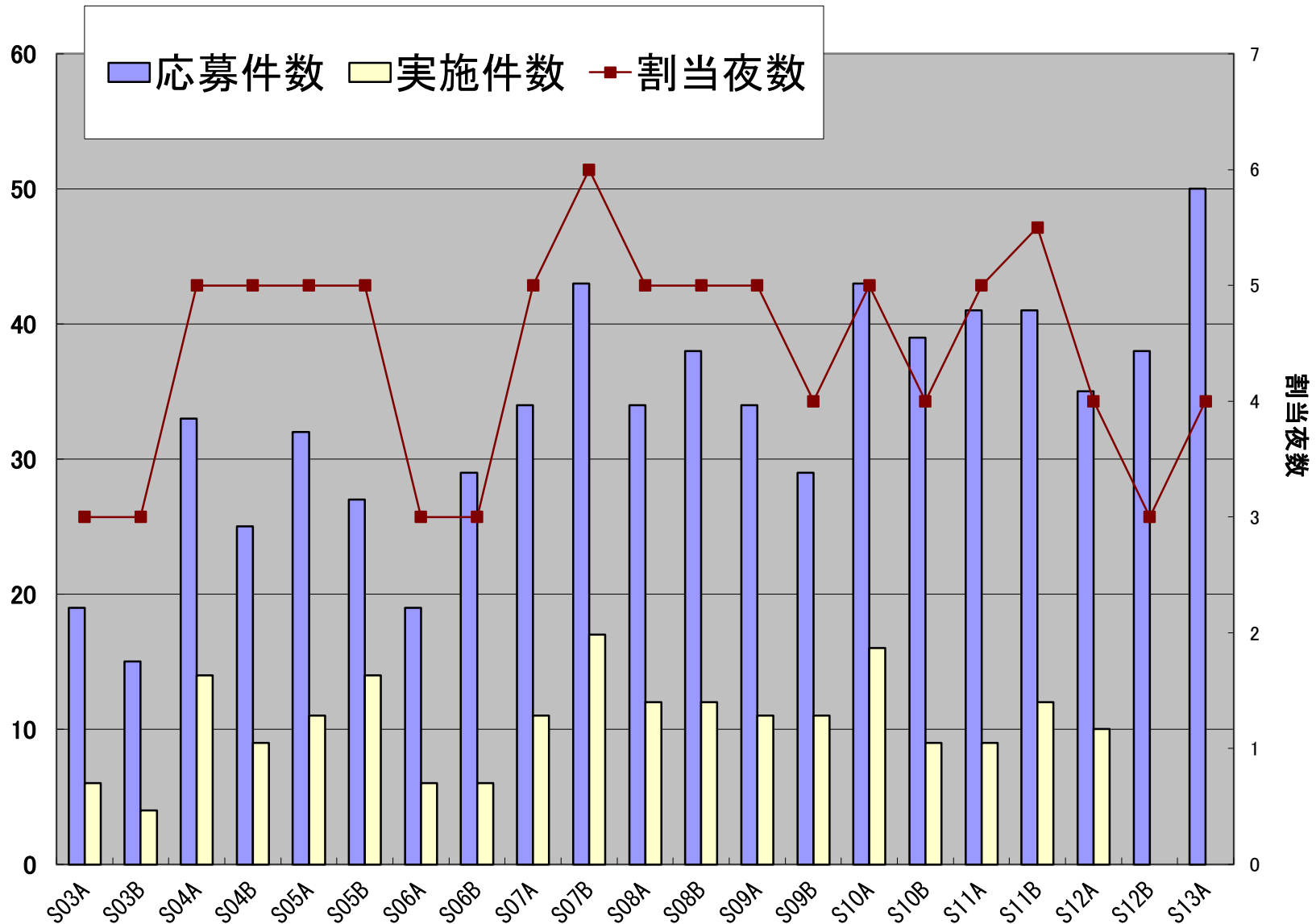
# 日本人・外国人別採択件数



# 大学院生の応募・採択件数



# サービス観測





# 2012年度主なできごと

## ■ S12B採択会議

- TOO課題カテゴリー不平等問題
- UKレフェリー受諾拒否問題
- TAC委員カテゴリー担当問題
- インテンシブ・ノーマル比較問題
- 追加採択方針決定

## ■ S13A採択会議

- レフェリー未回答問題
- 未審査持ち込み装置受け入れ問題
- 持ち込み装置提案 P I 承認問題
- サービス・ノーマル重複問題
- 国際提案・時間交換共存問題
- カテゴリー格差問題
- 戦略枠提案レフェリー決定

年間通じて、TUE事故の改修、HSCコミッショニングなど望遠鏡運用の不定性にできるだけ柔軟に対応できるように常にバックアッププログラムを作成

# 追加公募(S12A)

採択会議終了後に、バックアップ課題をもってしても大幅な追加採択が必要な事態が発生した場合は、追加公募を行う。

## ■ 公募 (1週間)

- 採択課題、空きスロット及び対応可能装置を公開
- 公募期間は2週間、通常と同じProMS投稿
- SJは1ページ
- 不採択だった課題を再提案してよい

## ■ 審査 (1週間+1週間)

- 1課題につき複数のSAC委員による審査。点数(順位)のみ(コメントなし)
- SAC審査を集計し、TAC委員が最終的な採否（ここで基となるのは、前後セメスターでの採択・実行実績、再提出提案についてはレフェリーコメント、そこからの改善点、TAC委員による思慮深い判断）を決定する
- カテゴリー間のバランスは考慮しない
- ここから以下の採択は認められない、というcritical lineを各カテゴリーごとに決める

## ■ スケジューリング、結果通知

- 順位表に従って上位からスケジューリング
- 全体の順位の上位から1/3、2/3、3/3のどこに入るのかを通知する。
- SACでの各評価項目の評価も通知する。

# 外国人提案について

## ■ 問題点

- 現在は外国人、日本人は区別せず公募
- 一方でKeck/Gemini時間交換枠があり、すばる以外の望遠鏡時間を獲得するためにもこの枠組みを積極的に活用したい
- Keck/Geminiコミュニティに属する外国人は応募の窓口が2つ存在することになっており、実際重複申請（禁止）の例もある

## ■ 対策

- SACの勧告を受け、CFPに以下のアナウンス

Non-Japanese PIs in the Keck/Gemini community who intend to use the Subaru telescope are strongly recommended to apply through the time-exchange program provided on the Keck/Gemini side (i.e., not through the ordinary Subaru Call for Proposals).

## ■ 結果

- Keck/Gemini共に時間交換枠への応募件数は前回から増えたことから一定の効果はあったと考えられる

## ■ 議論

- 明確な受け入れ体制ではないため、複数の窓口があってどちらに入るかで結果が変わるのはおかしい
- 外国人枠を作るべき
- そもそも日本人の時間交換枠利用者が少ない

# カテゴリー格差問題

---

## ■ 問題

- S13Aで“high-z”カテゴリーには38件の応募があり、その他のカテゴリーで最も少ないものは7件であった
- このようなカテゴリー格差があることは前々から指摘されていたが、有効な解決方法が見つからなかった

## ■ 対策

- S13Bより試みとして、従来の“high-z”カテゴリーは廃止し、**high-z galaxy(LAE・LBG)**と**high-z galaxy(others)**に分けることとした
- 境界にある提案や、提案数のバランスなどは仕分けの会の際に配慮することとした

## ■ 議論

- 時代の流れもあるので、次回はこれで試行してみるが、**適切なカテゴリー分けについては今後もTACごとに柔軟に対応すべきである**

- 観測所による技術審査の完了していない持ち込み装置提案についてTACやレフェリーとしては技術的完成度を推し量るのは難しく、今後はこのような提案は審査しない
- 持ち込み装置（現在はHiCIAOとKyoto3DII）を用いる提案は、観測遂行の責任を明確にするため装置PIをCoIに加えることを条件とする
- CFPの記述が曖昧だったサービス課題(max4時間)について、複数夜、複数装置の要求を可能にする

CFP open: 2013/02/12-15

■ Deadlines

■ Normal+Intensive: 2013/**03/07** 12:00:00 JST

■ Service: 2013/**04/05** 12:00:00 JST

Looking forward to reading your exciting,  
surprising, convincing, reader-friendly, and good-  
mannered proposals !!!